

中央環状
品川線

シールドトンネルを公宗

「大井地区」設計・施工一括で

都財務局

東京都財務局はきょう11日、第2回定例議会案件でWTO対象となる「中央環状品川線シールドトンネル工事」2「及び「同大井地区トンネル工事」を公示する。「シールドトンネル工事」の入札方式は技術提案型総合評価方式（入札時VE）、「大井地区トンネル工事」は設計・施工一括発注による技術提案型総合評価方式となる。「シールド工事」の競争入札参加資格確認申請は3月3日から7日まで電子入札システムで受け付ける。技術提案書のヒアリングは10日から25日まで都庁会議室で行う。入札手続は4月10日まで受け付ける。また、「大井地区トンネル工事」の競争入札参加資格確認申請は2月12日から15日まで（紙入札の場合は13日から15日）、3月12日まで入札手続を受け付ける。3月13日から4月16日まで技術提案書のヒアリングを行う。開札は両案件とも4月17日に行う予定。

13年度開通へ工期短縮図る

評価方法は、基礎点と技術点及び価格点を加算したものを経営価値とし、必須とする要求要件項目を全て満たしている業者には基礎点として100点を与え、1項目でも満たしていない場合には技術点及び価格点に関して審査を行わない。シールドトンネル工事の場合、入札希望者からの技術提案項目は、▽工期の短縮日数▽耐久性に配慮したセグメントの防食対策及び継手部防水の仕様――を審査。「技術提案に係る評価」から、工期の短縮日数は1日当たり0・409点を与える。か、セグメントの防食対策では入札希望者の提案に応じて点数化する。技術点は価格点の満点（300点）を限度とするため、場合によっては技術点が価格点を上回る可能性もある。

一方、大井地区トンネル工事は、企業としての実績、管理技術者としての実績に加え、施工上の課題や工程管理といった施工計画、開削部面積の低減などを判断し、技術点を付ける。技術点の満点は18・062点。また、価格点は60点満点とする。

参加資格は、3者JVとし、代表者は経営価値の総合評価値（土木一式）が1250点以上、第2、第3順位は1150点以上であること。また、「シールド工事」代表者は97年から08年2月29日までの間、シールド外径9メートル以上、延長1キ以上を施工しているもの、「大井地区」も同年の間に延長600メートル以上で内空面積50平方メートル以上を施工している業者であることなど。

シールドトンネルの工事場所は、品川区八潮1丁目地内から目黒区青葉台4丁目地内。トンネル形状は外径12・3メートル、延長7966・7メートル、シールド外径は731・1メートル。大井北換気所下部工、大井トンネル工、仮設工各一式の実施設計及び工事。工期は11年6月30日まで。予定価格は204億8537万4000円。